



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 ソースネクスト株式会社

コード番号 4344 URL <http://www.sourcenext.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 憲幸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 アドミニストレーショングル (氏名) 青山 文彦

TEL 03-6430-6406

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,193	36.8	236	—	225	—	199	△37.0
23年3月期第3四半期	3,064	—	△292	—	△321	—	316	—

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 199百万円 (△37.0%) 23年3月期第3四半期 316百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	1,258.67	—
23年3月期第3四半期	1,997.23	—

(注)23年3月期第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、23年3月期第3四半期の前年同四半期増減率については、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,188	530	16.6
23年3月期	2,942	330	11.2

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 530百万円 23年3月期 330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,015	25.5	210	—	181	—	168	8.9

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	158,660 株	23年3月期	158,660 株
24年3月期3Q	― 株	23年3月期	― 株
24年3月期3Q	158,660 株	23年3月期3Q	158,660 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による悪化から持ち直しの傾向が見られたものの、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社を取り巻く環境においては、当第3四半期連結累計期間におけるパソコンソフトウェア市場にしましては、店頭実売実績は前年比85.5%（※）と厳しい状況で推移いたしましたが、一方、JEITAの発表によると、当第3四半期連結累計期間におけるパソコン出荷台数は、前年比105.6%と堅調に推移しております。

こうした状況の中、当社グループは従来の主力製品である「ウイルスセキュリティZERO®」及び「筆王®」の店頭展開に注力すると共に、平成23年12月に世界最高レベルの技術を持つBitdefender, SRLの製品を更新料0円にした「スーパーセキュリティZERO」の発売を開始いたしました。また、急速に市場を伸ばしているスマートフォン向けに、平成23年12月に「Android厳選アプリ」シリーズとして10タイトルを発売しております。スマートフォン用のアプリケーションは、インターネットでダウンロードするのが通常ですが、パッケージ化して店頭に展開し、手にとれるものにすることでより多くのお客様に手軽に安心してアプリケーションを使っていただけるよう開発した新しいシリーズです。さらに、Apple Inc. が運営するApp Storeにて、iPhone及びiPad向けの英語学習アプリケーション「超字幕」シリーズの発売を開始し、平成23年12月には、App Store iPadアプリトップセールスランキングで第1位を獲得いたしました。直販サイト「ソースネクストeSHOP」におきましては、既存の「ウイルスセキュリティ」シリーズのユーザー780万人（平成23年12月末現在）に対し、オプションとして、バックアップ機能及びファイルの安全消去などが行えるツールの販売を開始いたしました。こうした施策により、当第3四半期連結累計期間の売上高は41億93百万円となり、経常利益は2億25百万円となりました。

※平成23年4月～12月ジーエフケーマーケティングサービスジャパン調べ

全国有力家電量販店の販売実績の集計結果

① 売上高

主力製品である「ウイルスセキュリティZERO®」及び「筆王®」のほか、平成23年12月に発売いたしました「スーパーセキュリティZERO」の販売促進に注力いたしました。店頭市場においては、引き続き店頭在庫の適正化の徹底、販促物の見直し等による訴求力のアップを図った結果、当第3四半期連結累計期間における「ウイルスセキュリティ」シリーズの店頭販売本数は、前年比111.3%となり、さらに当社の主力製品の「ウイルスセキュリティZERO 1,980円」につきましては、平成23年年間販売本数シェアにおいて、16.4%と第1位を獲得いたしました。また、パソコンソフト以外にも、スマートフォン向けに、「Android厳選アプリ」シリーズとして10タイトルの新製品を発売したほか、iPhone及びiPad向けの英語学習ソフト「超字幕」シリーズの発売を開始しております。「超字幕」につきましては、平成23年12月にApp Store iPadアプリトップセールスランキングにて第1位を獲得いたしました。直販サイト「ソースネクストeSHOP」においては、既存のユーザー資産を活かし、「ウイルスセキュリティ」シリーズのユーザー780万人（平成23年12月末現在）に対し、オプションとして、バックアップ機能及びファイルの安全消去などが行えるツールをインターネット上で簡単に申し込みができるよう、新規発売いたしました。これらにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は41億93百万円（前年同四半期比36.8%増）となりました。

② 売上総利益

従来より進めておりました店頭在庫の適正化及び生産プロセス・出荷プロセスの見直しにより、返品が大幅に減少しております。その結果、製品評価損が減少し、当第3四半期連結累計期間における売上総利益は、22億42百万円（前年同四半期比16.6%増）となりました。

③ 営業利益

本社地代家賃の削減に加え、業務委託費、販売促進費等を中心に販売費及び一般管理費のさらなる圧縮に努めた結果、販売費及び一般管理費は前年同四半期比9.5%の削減となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における営業利益は、2億36百万円（前年同四半期は営業損失2億92百万円）となりました。

④ 経常利益

当第3四半期連結累計期間における経常利益は、2億25百万円（前年同四半期は経常損失3億21百万円）となりました。

⑤ 四半期純利益

当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は、1億99百万円（前年同四半期比37.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億45百万円増加し、31億88百万円となりました。流動資産は、4億83百万円増加して22億31百万円、固定資産は、2億36百万円減少して9億57百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加2億46百万円、受取手形及び売掛金の増加4億60百万円、商品及び製品の減少2億20百万円によるものであります。固定資産の減少の主な要因は、償却による減少が取得を上回ったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し、26億57百万円となりました。流動負債は、77百万円増加して26億49百万円、固定負債は31百万円減少して8百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、買掛金の増加26百万円、未払金の増加45百万円、返品調整引当金の増加96百万円、アフターサービス引当金の減少11百万円、社債償還による1年内償還予定の社債の減少50百万円によるものであります。固定負債の減少の主な要因は、長期借入金の1年内返済予定の長期借入金への振り替えによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億99百万円増加し、5億30百万円となりました。純資産の増加の要因は、四半期純利益1億99百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では平成23年11月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力製品である「ウイルスセキュリティZERO®」及び「筆王®」の販売促進に注力した結果、41億93百万円と前年同期(前第3四半期連結累計期間の売上高は30億64百万円)に比べて増加しております。また、損益面においても、店頭在庫の適正化及び生産プロセス・出荷プロセスの見直しや、販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、2億36百万円と前年同期(前第3四半期連結累計期間の営業損失は2億92百万円)に比べて大幅に改善しております。

しかしながら、過年度におきましては、市況の悪化により当社グループ製品の出荷先である家電量販店や流通代理店が在庫調整を進めたことなどの影響により、売上高が減少し、連続して営業損失を計上しております。また、財務面においては、事業計画の達成状況により、借入金の借換等の資金調達に影響を与える可能性があります。

これらの状況から継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループでは、当該状況を解消すべく、平成23年12月に世界最高レベルの技術を持つBitdefender, SRLの製品を更新料0円にした「スーパーセキュリティZERO」の発売を開始いたしました。また、平成23年7月よりApple Inc.が運営するApp Storeにて、iPhone及びiPad向けの英語学習アプリケーション「超字幕」シリーズの発売を開始し、さらに平成23年9月にはスマートフォン向けに「Android厳選アプリ」シリーズとして10タイトルを発売して家電量販店等の店頭に展開するなど、iPhone、iPad、Android携帯等のパソコン以外のデバイスに対応した製品の新規企画・開発・拡販を行っております。また、既存製品についても、主力製品である「ウイルスセキュリティ」の戦略的価格付けによるシェア及びユーザー数の大幅な拡大を図っております。さらに、「ウイルスセキュリティ」シリーズのユーザーに対する追加機能等の販売により、収益の拡大を推し進めております。これらの他、当社グループでは、採算性の高い販売チャネルへの集中、プロモーション強化、継続的かつ効果的なコスト管理といった収益拡大及び費用削減のための施策を進めており、財務面においては損益の大幅な改善により健全化が進んでおりますが、引き続き借入金の期間長期化等条件の改善に取り組んでおります。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	434,314	680,391
受取手形及び売掛金	625,964	1,086,280
商品及び製品	394,737	174,225
原材料及び貯蔵品	24,924	15,416
前渡金	218,975	167,510
その他	48,278	107,258
流動資産合計	1,747,194	2,231,083
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	183,429	189,583
減価償却累計額	△108,525	△132,661
有形固定資産合計	74,903	56,922
無形固定資産		
ソフトウェア	623,406	624,776
その他	302,126	100,660
無形固定資産合計	925,532	725,437
投資その他の資産	193,783	174,861
固定資産合計	1,194,219	957,220
繰延資産		
繰延資産合計	1,019	—
資産合計	2,942,433	3,188,304
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,897	241,200
短期借入金	348,267	394,654
1年内返済予定の長期借入金	1,318,682	1,212,982
1年内償還予定の社債	50,000	—
未払金	313,741	359,461
未払法人税等	6,757	6,403
賞与引当金	—	780
返品調整引当金	110,153	206,280
アフターサービス引当金	69,097	57,564
その他	140,021	170,137
流動負債合計	2,571,618	2,649,464
固定負債		
長期借入金	25,000	—
その他	14,879	8,203
固定負債合計	39,879	8,203
負債合計	2,611,498	2,657,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,226	1,771,226
資本剰余金	1,611,226	1,611,226
利益剰余金	△3,051,518	△2,851,817
株主資本合計	330,935	530,636
純資産合計	330,935	530,636
負債純資産合計	2,942,433	3,188,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	3,064,415	4,193,575
売上原価	1,418,013	1,855,228
売上総利益	1,646,401	2,338,346
返品調整引当金繰入額	225,445	206,280
返品調整引当金戻入額	501,315	110,153
差引売上総利益	1,922,271	2,242,219
販売費及び一般管理費	2,214,529	2,005,246
営業利益又は営業損失(△)	△292,257	236,973
営業外収益		
受取利息	34	44
為替差益	12,766	20,256
その他	1,004	1,123
営業外収益合計	13,806	21,423
営業外費用		
支払利息	36,291	31,941
その他	6,649	1,191
営業外費用合計	42,940	33,133
経常利益又は経常損失(△)	△321,391	225,263
特別利益		
固定資産売却益	588,774	—
ロイヤリティ契約変更差益	78,885	—
未払金精算益	7,645	—
特別利益合計	675,306	—
特別損失		
前渡金評価損	—	19,957
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,083	—
過年度業務委託費確定額	32,550	—
減損損失	676	3,790
特別損失合計	35,310	23,748
税金等調整前四半期純利益	318,604	201,514
法人税、住民税及び事業税	1,724	1,813
法人税等合計	1,724	1,813
少数株主損益調整前四半期純利益	316,879	199,700
四半期純利益	316,879	199,700

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	316,879	199,700
四半期包括利益	316,879	199,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,879	199,700

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力製品である「ウイルスセキュリティZERO®」及び「筆王®」の販売促進に注力した結果、4,193,575千円と前年同期(前第3四半期連結累計期間の売上高は3,064,415千円)に比べて増加しております。また、損益面においても、店頭在庫の適正化及び生産プロセス・出荷プロセスの見直しや、販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、236,973千円と前年同期(前第3四半期連結累計期間の営業損失は292,257千円)に比べて大幅に改善しております。

しかしながら、過年度におきましては、市況の悪化により当社グループ製品の出荷先である家電量販店や流通代理店が在庫調整を進めたことなどの影響により、売上高が減少し、連続して営業損失を計上しております。また、財務面においては、事業計画の達成状況により、借入金の借換等の資金調達に影響を与える可能性があります。

これらの状況から継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループでは、当該状況を解消すべく、ドイツの第三者機関AV-Test.orgによって平成23年7、8、9、11月に実施された3種類の検知率テストですべて100%を達成し、防御性能の年間平均スコアで第1位を記録したBitdefender, SRLの製品を更新料0円にした「スーパーセキュリティZERO」を平成23年12月に発売開始いたしました。また、平成23年7月よりApple Inc.が運営するApp Storeにて、iPhone及びiPad向けの英語学習アプリケーション「超字幕」シリーズの発売を開始し、さらに平成23年9月にはスマートフォン向けに「Android厳選アプリ」シリーズとして10タイトルを発売して家電量販店等の店頭に展開するなど、iPhone、iPad、Android携帯等のパソコン以外のデバイスに対応した製品の新規企画・開発・拡販を行っております。また、既存製品についても、主力製品である「ウイルスセキュリティ」の戦略的価格付けによるシェア及びユーザー数の大幅な拡大を図っております。さらに、「ウイルスセキュリティ」シリーズのユーザーに対する追加機能等の販売により、収益の拡大を推し進めております。これらの他、当社グループでは、採算性の高い販売チャネルへの集中、プロモーション強化、継続的かつ効果的なコスト管理といった収益拡大及び費用削減のための施策を進めており、財務面においては損益の大幅な改善により健全化が進んでおりますが、引き続き借入金の期間長期化等条件の改善に取り組んでおります。

しかし、当社グループの売上は、エンドユーザーの需要動向の変化、量販店を始めとする各小売店の在庫戦略や競合他社の状況にも影響されることがあり、事業計画の達成状況によっては借入金の借換等の資金調達に影響を与える可能性があるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。